意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VAA	グラフィカルユーザーインターフェース（以下に掲げる以外の特徴を有するもの）

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

機器の操作等に用いられる画像であり、複合的又は混成的な形態からなるもの。

注：　シンプル、統一的、象徴（印・しるし）的な形態を表した画像については、「VFA　アイコン（以下に掲げる以外の特徴を有するもの）」参照。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VAB	インタラクティブな学習、検査、訓練等のために構成される特有の画像

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

インタラクティブな学習、検査、訓練等の用途に特化したものであることが明らかな、以下に該当する画像。
・特定の位置関係を伴う複数のアイコン又は図形要素から構成される画像。
・画面全体又はその主要な範囲を占める、背景、侵入（自動出現）型のアニメーション又は固定されたコンテンツ表示部としての画像。

注：個々のアイコンやその他の図形については、VFA～VKD のアイコン用のタームを付与する。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBA	メニュー又はレイアウトを有する画像

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

複数のアイコンやレイアウト要素の特定的な配置を表した画像であり、利用者とのインタラクションを示唆するもの。

説明と例示：　メニュー、矩形ボタン、ページめくりメタファ、記入フォーム、メディア（コンテンツ）ギャラリー。アイコンやレイアウト要素のみ又はその両者の組合せにより構成される。レイアウト要素とは、内容（情報）を整列、整理、区分、接続、包含又は強調するウィンドウ、パネル、境界等のような、一般にシンプルで線を用いた図形的特徴であり、アイコンのような分離した表象は含まない。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBA【メニュー、レイアウト】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・トグルボタン

＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBB	ポップアップ、ドロップダウン又は他の拡張メニュー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

前に見えていた内容（情報）の一部又は全部を覆い隠す一時的なメニューを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBB, VBC, VBD（3 肢）【ポップアップ】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ポップアップウィンドウ
・ドロップダウンリスト、プルダウンメニュー
・スワイプして現れる一時的なウィンドウ
・ドッカブルツールバー（フローティング）
・コンボボックス（ポップアップ）

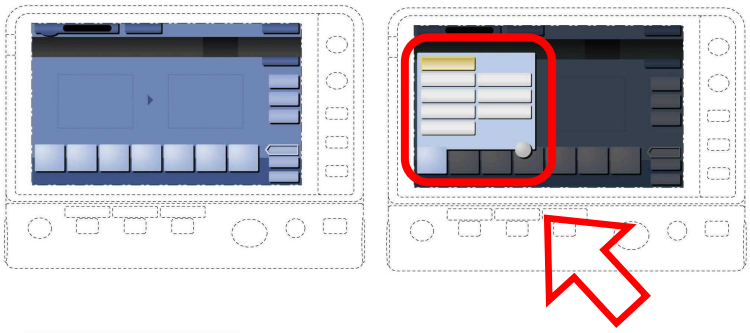
＜このタームの付与運用＞

・ポップアップ後の画像が現れていない時は、変化する可能性が高い GUI 部品のみについて意匠登録を受けようとしている場合に限り、VBB-VBD（ポップアップ）を付与する。（例えば、ドロップダウンのための GUI 部品）

＜他のタームとの関係＞

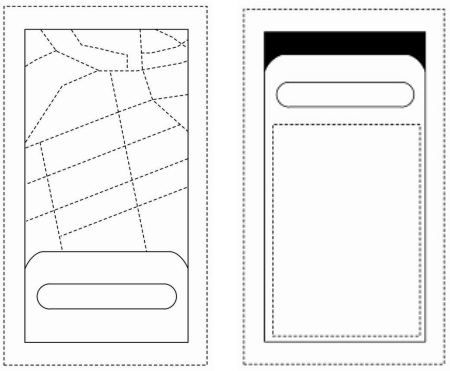
・ポップアップ等の変化が見られる場合は、VLB-VLG（変化又は遷移）を追加付与できる。
・**コンボボックス**（テキストボックス＋リスト）にポップアップ等の変化がある場合は、VBB-VBD（ポップアップ）を付与した後に、VBQ-VBR（文字メニュー、文字入力）を追加付与できる。
・形状が他のタームの典型的なものでポップアップ等の変化がある場合は、 その他のタームを付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を追加付与できる。例えば、ポップアップする**ログインフォーム**は、 VBR（ログインフォーム） を付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を付与できる。これとは逆に、形状の特徴に応じて、 VBB-VBD（ポップアップ）を優先付与することもできる。
・対話形式でない単なる吹き出し型の枠の**ポップアップ（リスト型）**は、VBC（ポップアップ／リスト型）を付与する。VCH（チャット）は付与しない。

＜図例＞



1458987
ポップアップウィンドウ

※ウィンドウ内部の要素がマトリクス状



1657826
スワイプして現れる一時的なウィンドウ

※ウィンドウ内部の要素が現れていない

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBC	リスト型 ［ポップアップ、ドロップダウン又は他の拡張メニュー］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

一時的なメニューを表した画像で、一列に整列した項目を伴うもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBB, VBC, VBD（3 肢）【ポップアップ】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ポップアップウィンドウ
・ドロップダウンリスト、プルダウンメニュー
・スワイプして現れる一時的なウィンドウ
・ドッカブルツールバー（フローティング）
・コンボボックス（ポップアップ）

＜このタームの付与運用＞

・ポップアップ後の画像が現れていない時は、変化する可能性が高い GUI 部品のみについて意匠登録を受けようとしている場合に限り、VBB-VBD（ポップアップ）を付与する。（例えば、ドロップダウンのための GUI 部品）

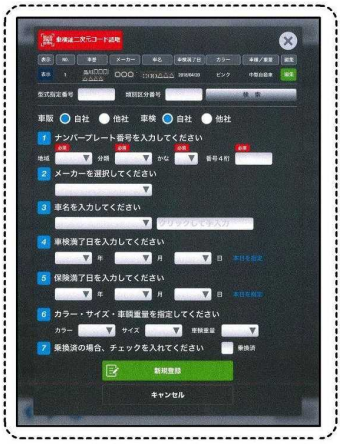
＜他のタームとの関係＞

・ポップアップ等の変化が見られる場合は、VLB-VLG（変化又は遷移）を追加付与できる。
・**コンボボックス**（テキストボックス＋リスト）にポップアップ等の変化がある場合は、VBB-VBD（ポップアップ）を付与した後に、VBQ-VBR（文字メニュー、文字入力）を追加付与できる。
・形状が他のタームの典型的なものでポップアップ等の変化がある場合は、 その他のタームを付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を追加付与できる。例えば、ポップアップする**ログインフォーム**は、 VBR（ログインフォーム） を付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を付与できる。これとは逆に、形状の特徴に応じて、 VBB-VBD（ポップアップ）を優先付与することもできる。
・ 対話形式でない単なる吹き出し型の枠の**ポップアップ（リスト型）**は、VBC（ポップアップ／リスト型）を付与する。VCH（チャット）は付与しない。

＜図例＞

1493354
ポップアップウィンドウ

【意匠に係る物品の説明】
…画面ロック時にポップアップ表示され…



境界例（除く例）

1636701
ドロップダウン　→　ドロップダウンのみが請求されているものではなく、かつ、ドロップダウンのためのGUI部品の形状が特徴的ではないため、**VBCは付与しない**。

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBD	非リスト型 ［ポップアップ、ドロップダウン又は他の拡張メニュー］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

一時的なメニューを表した画像で、文字列や入力領域が軸方向の整列ではない配置を伴うもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBB, VBC, VBD（3 肢）【ポップアップ】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ポップアップウィンドウ
・ドロップダウンリスト、プルダウンメニュー
・スワイプして現れる一時的なウィンドウ
・ドッカブルツールバー（フローティング）
・コンボボックス（ポップアップ）

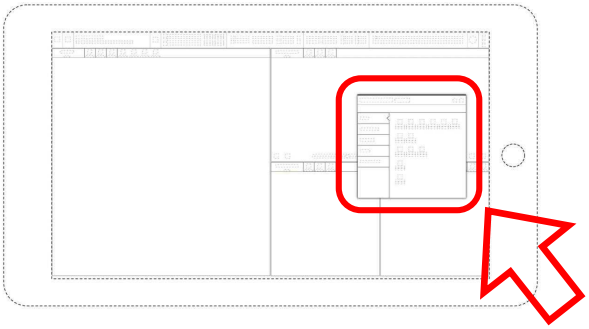
＜このタームの付与運用＞

・ポップアップ後の画像が現れていない時は、変化する可能性が高い GUI 部品のみについて意匠登録を受けようとしている場合に限り、VBB-VBD（ポップアップ）を付与する。（例えば、ドロップダウンのための GUI 部品）

＜他のタームとの関係＞

・ポップアップ等の変化が見られる場合は、VLB-VLG（変化又は遷移）を追加付与できる。
・**コンボボックス**（テキストボックス＋リスト）にポップアップ等の変化がある場合は、VBB-VBD（ポップアップ）を付与した後に、VBQ-VBR（文字メニュー、文字入力）を追加付与できる。
・形状が他のタームの典型的なものでポップアップ等の変化がある場合は、 その他のタームを付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を追加付与できる。例えば、ポップアップする**ログインフォーム**は、 VBR（ログインフォーム） を付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を付与できる。これとは逆に、形状の特徴に応じて、 VBB-VBD（ポップアップ）を優先付与することもできる。
・ 対話形式でない単なる吹き出し型の枠の**ポップアップ（リスト型）**は、VBC（ポップアップ／リスト型）を付与する。VCH（チャット）は付与しない。

＜図例＞



1651470
ポップアップウィンドウ

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBE	ツールバー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

アイコンボタン、文字列ボタン、検索バー又は他の同類の特徴を伴うメニューを表した画像で、顕著な方向性をもって一列又は平行な複数列に並んでいるもの。

注：　ポップアップと異なり、その元となる内容（情報）の外観を伴わずに、より永続的に配置されるもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBE, VBF, VBG, VBH（4 肢）【ツールバー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ツールバー
・メニューバー
・タスクバー
・ステータスバー
・ドッカブルツールバー（ツールバー内）
・ブックマークバー
・タブバー
・リボン

※VBH（トピックパス）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・トピックパス（パンくずリスト）
・プログレストラッカー
・ページネーション

＜このタームの付与運用＞
・線図の出願には VBG（ツールバー／カラー・グレー）を付与しない。
・【図例有り】一時的に隠れる（縮小する）等の変化を伴うツールバーであっても、使用時のほとんどが出現していると推測できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・【図例有り】境界線が無いが「バー」として擬制できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・**プログレストラッカー**は現在の進捗を表すものだが、操作の可否に関わらず、VBH（トピックパス）を付与する。

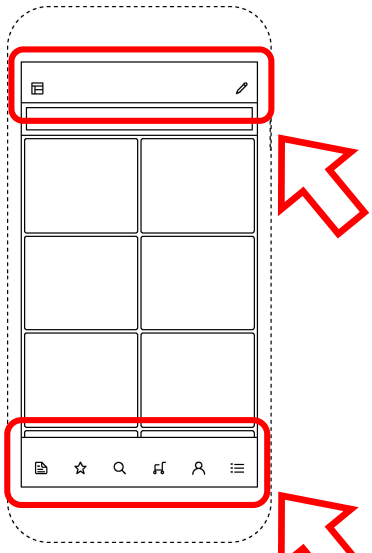
＜他のタームとの関係＞

・**タブ**について、伝統的な紙媒体としての**タブ**を模しているもの（スキューモーフィックデザイン）は VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**タブバー**には VBE-VBG（ツールバー）を付与する。

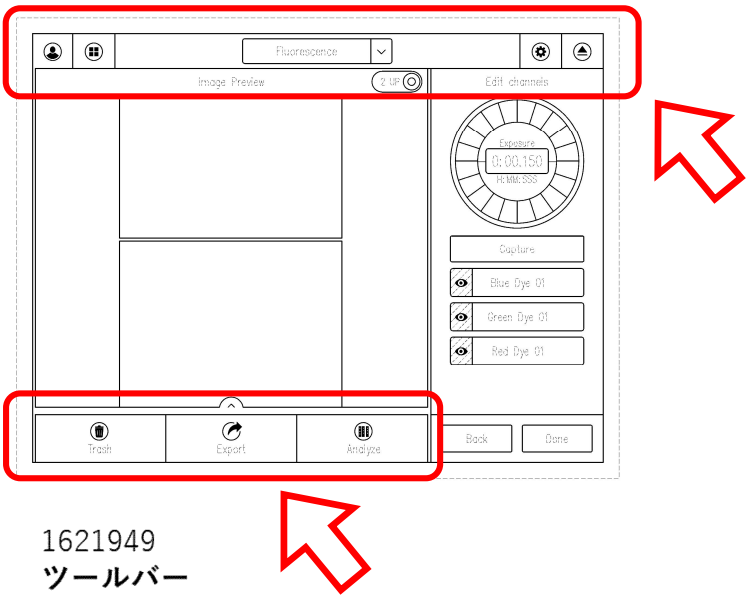
・**ツールバー**の中に特徴的な複数のアイコンが含まれ、 VBE-VBH（ツールバー）を付与する場合は、VFB（複数のアイコンからなるもの）を同時付与する。個々のアイコンに対し、タームを付与することもできる。

・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

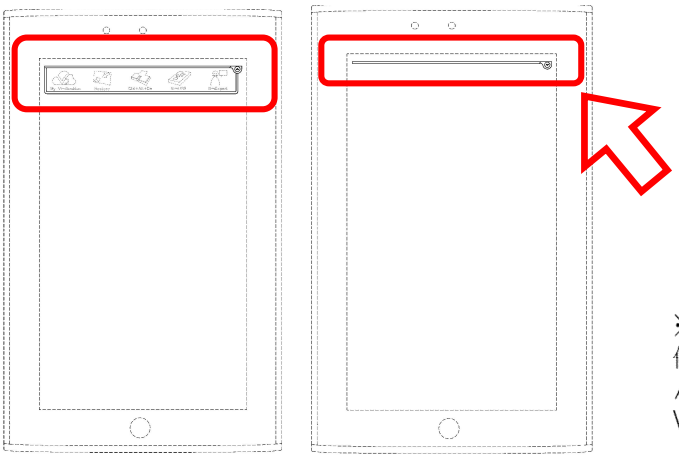
＜図例＞



1638512
ツールバー



1621949
ツールバー



1502868
ツールバー

※一時的に隠れる（縮小する）等の変化を伴うツールバーであっても、使用時のほとんどが出現していると推測できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBF	文字やイメージを伴うもの ［ツールバー］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

付加的な文字列や図像と結合したボタンを伴うメニューを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBE, VBF, VBG, VBH（4 肢）【ツールバー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ツールバー
・メニューバー
・タスクバー
・ステータスバー
・ドッカブルツールバー（ツールバー内）
・ブックマークバー
・タブバー
・リボン

※VBH（トピックパス）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・トピックパス（パンくずリスト）
・プログレストラッカー
・ページネーション

＜このタームの付与運用＞

・線図の出願には VBG（ツールバー／カラー・グレー）を付与しない。
・【図例有り】一時的に隠れる（縮小する）等の変化を伴うツールバーであっても、使用時のほとんどが出現していると推測できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・【図例有り】境界線が無いが「バー」として擬制できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・**プログレストラッカー**は現在の進捗を表すものだが、操作の可否に関わらず、VBH（トピックパス）を付与する。

＜他のタームとの関係＞

・**タブ**について、伝統的な紙媒体としての**タブ**を模しているもの（スキューモーフィックデザイン）は VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**タブバー**には VBE-VBG（ツールバー）を付与する。

・**ツールバー**の中に特徴的な複数のアイコンが含まれ、 VBE-VBH（ツールバー）を付与する場合は、VFB（複数のアイコンからなるもの）を同時付与する。個々のアイコンに対し、タームを付与することもできる。

・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBG	カラー又はグレースケールを伴うもの ［ツールバー］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

カラー又はグレースケールにより表された構成を伴うツールバーを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBE, VBF, VBG, VBH（4 肢）【ツールバー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ツールバー
・メニューバー
・タスクバー
・ステータスバー
・ドッカブルツールバー（ツールバー内）
・ブックマークバー
・タブバー
・リボン

※VBH（トピックパス）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・トピックパス（パンくずリスト）
・プログレストラッカー
・ページネーション

＜このタームの付与運用＞

・線図の出願には VBG（ツールバー／カラー・グレー）を付与しない。
・【図例有り】一時的に隠れる（縮小する）等の変化を伴うツールバーであっても、使用時のほとんどが出現していると推測できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・【図例有り】境界線が無いが「バー」として擬制できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・**プログレストラッカー**は現在の進捗を表すものだが、操作の可否に関わらず、VBH（トピックパス）を付与する。

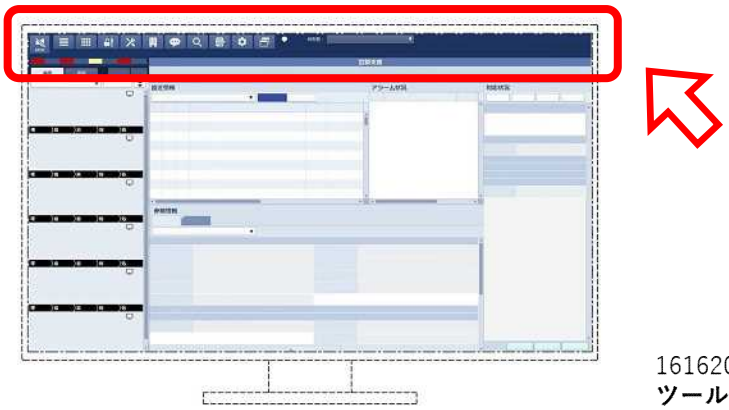
＜他のタームとの関係＞

・**タブ**について、伝統的な紙媒体としての**タブ**を模しているもの（スキューモーフィックデザイン）は VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**タブバー**には VBE-VBG（ツールバー）を付与する。

・**ツールバー**の中に特徴的な複数のアイコンが含まれ、 VBE-VBH（ツールバー）を付与する場合は、VFB（複数のアイコンからなるもの）を同時付与する。個々のアイコンに対し、タームを付与することもできる。

・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

＜図例＞



1616205
ツールバー

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBH	トピックパス（パンくずリスト）を伴うもの ［ツールバー］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

複数のメニュー選択を表した画像であり、案内表示として順序だった遷移を示唆するために、近接する形態を反復的に配置したもの。

注：　連結され又は入れ子状になった反復的な形態（例えば、シェブロン記号）としてしばしば表される。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBE, VBF, VBG, VBH（4 肢）【ツールバー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ツールバー
・メニューバー
・タスクバー
・ステータスバー
・ドッカブルツールバー（ツールバー内）
・ブックマークバー
・タブバー
・リボン

※VBH（トピックパス）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・トピックパス（パンくずリスト）
・プログレストラッカー
・ページネーション

＜このタームの付与運用＞
・線図の出願には VBG（ツールバー／カラー・グレー）を付与しない。
・【図例有り】一時的に隠れる（縮小する）等の変化を伴う**ツールバー**であっても、使用時のほとんどが出現していると推測できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・【図例有り】境界線が無いが「バー」として擬制できる場合は、VBE-VBH（ツールバー）を付与する。
・**プログレストラッカー**は現在の進捗を表すものだが、操作の可否に関わらず、VBH（トピックパス）を付与する。

＜他のタームとの関係＞

・**タブ**について、伝統的な紙媒体としての**タブ**を模しているもの（スキューモーフィックデザイン）は VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**タブバー**には VBE-VBG（ツールバー）を付与する。

・**ツールバー**の中に特徴的な複数のアイコンが含まれ、 VBE-VBH（ツールバー）を付与する場合は、VFB（複数のアイコンからなるもの）を同時付与する。個々のアイコンに対し、タームを付与することもできる。

・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

＜図例＞

1624905
プログレストラッカー

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBJ	キーボード、ダイヤルパッド、電卓、方向キー等のボタン配列

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

限られた領域、特定の位置にボタン列を表した画像。

注：　データ入力を要する複数の区画領域については、「VBQ　文字によるメニュー表示又は文字入力領域」参照。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBJ, VBK, VBL（3 肢）【キーボード】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・キーボード
・ダイヤルパッド
・電卓
・テンキー
・方向キー
・十字キー

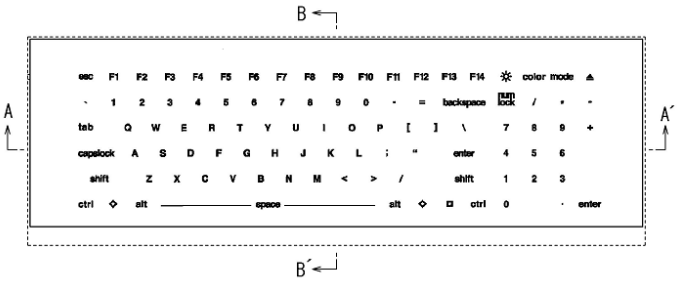
＜このタームの付与運用＞

・選択する1単位の形状に着目し、それが長方形であれば VBK（キーボード／長方形ボタン）を付与し、円形であれば VBL（キーボード／円形ボタン）を付与する。例えば、方向キーが円環状に並び、個々のボタンが長方形でも円形でもないものについては VBJ（キーボード）を付与する。

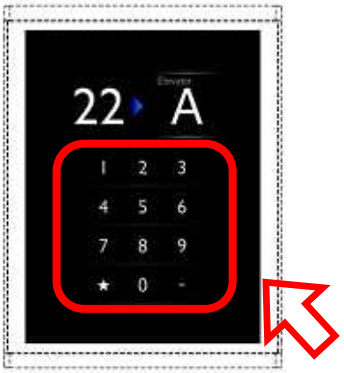
＜他のタームとの関係＞

・メニュー画面等で枠付きのアイコンが整然と並んでいる配置については、 VBJ-VBL（キーボード）を付与しない。

＜図例＞



1391918
キーボード



1519670
ダイヤルパッド

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBK	ボタン形状が正方形又は長方形のもの ［キーボード、ダイヤルパッド、電卓、方向キー等のボタン配列］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

実質的に正方形又は長方形のボタンからなるボタンの配置を表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBJ, VBK, VBL（3 肢）【キーボード】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・キーボード
・ダイヤルパッド
・電卓
・テンキー
・方向キー
・十字キー

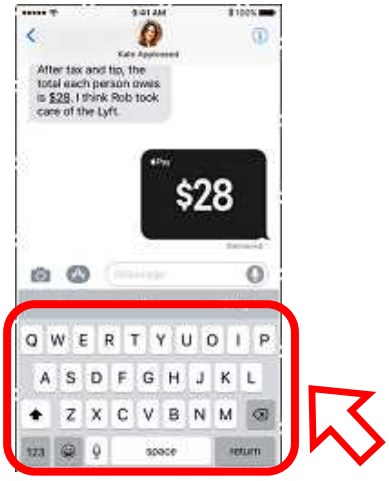
＜このタームの付与運用＞

・選択する1単位の形状に着目し、それが長方形であれば VBK（キーボード／長方形ボタン）を付与し、円形であれば VBL（キーボード／円形ボタン）を付与する。例えば、方向キーが円環状に並び、個々のボタンが長方形でも円形でもないものについては VBJ（キーボード）を付与する。

＜他のタームとの関係＞

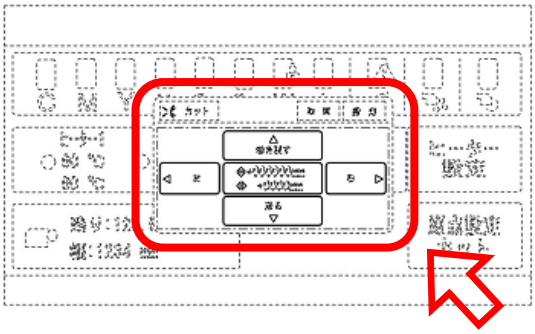
・メニュー画面等で枠付きのアイコンが整然と並んでいる配置については、 VBJ-VBL（キーボード）を付与しない。

＜図例＞



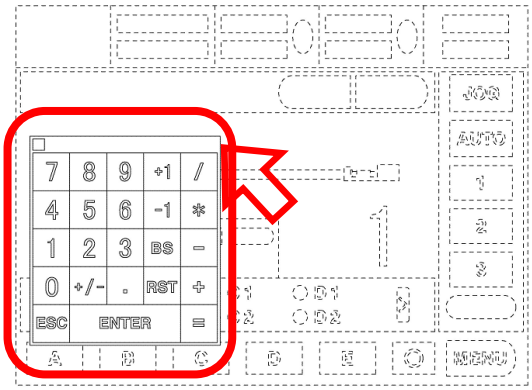
1638304
キーボード

1644139
ダイヤルパッド



1616496
方向キー（ポップアップ）

※非リスト型のポップアップウィンドウでもあるためVBD（ポップアップ／非リスト型）を同時付与する



1365059
テンキー

※非リスト型のポップアップウィンドウでもあるため
VBD（ポップアップ／非リスト型）を同時付与する

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBL	ボタン形状が円形又はだ円形のもの ［キーボード、ダイヤルパッド、電卓、方向キー等のボタン配列］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

実質的に円形又は楕円形のボタンからなるボタンの配置を表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBJ, VBK, VBL（3 肢）【キーボード】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・キーボード
・ダイヤルパッド
・電卓
・テンキー
・方向キー
・十字キー

＜このタームの付与運用＞

・選択する1単位の形状に着目し、それが長方形であれば VBK（キーボード／長方形ボタン）を付与し、円形であれば VBL（キーボード／円形ボタン）を付与する。例えば、方向キーが円環状に並び、個々のボタンが長方形でも円形でもないものについては VBJ（キーボード）を付与する。

＜他のタームとの関係＞

・メニュー画面等で枠付きのアイコンが整然と並んでいる配置については、 VBJ-VBL（キーボード）を付与しない。

＜図例＞

1615767
電卓

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBM	スクロールバー又はスライダー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

内容（情報）の進行方向の誘導を目的として、表示位置を示し又は操作するための図形要素を顕著に表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VBM【スクロールバー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

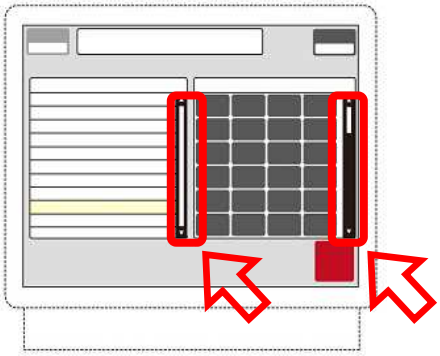
・スクロールバー
・スライダー
・インジケーター（表示領域）
・インジケーター（実質、スライダー）

＜このタームの付与運用＞

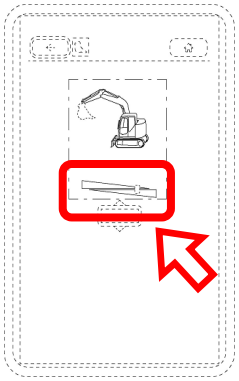
＜他のタームとの関係＞

・動画や音楽の**タイムライン**を表示する GUI 部品については、操作できるか否かに関わらず、VBN（ステータスインジケーター）を付与し、操作できる場合は VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・【図例有り】何らかの数量（結果）を表示する**インジケーター**であるが、**スクロールバー**や**スライダー**としての形状的な特徴（全体量とノブが表されている等）を有するものについては、 VBN（ステータスインジケーター） を付与した後、VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・「意匠に係る物品の説明」等に「**インジケーター**」と記載されていても、表示領域を示す**インジケーター**のように、VBM（スクロールバー）が適する GUI 部品があるので、 VBN（ステータスインジケーター）との関係で、注意が必要。

＜図例＞

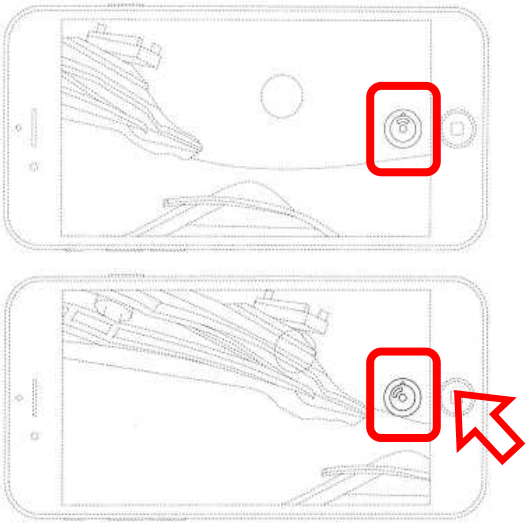


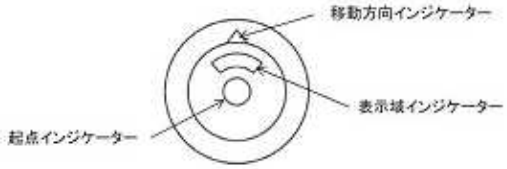
1553155
スクロールバー



1626008
スライダー

境界例（含む例）





1584618
インジケーター（表示領域）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBN	ステータスインジケーター又はプログレスバー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

作業の経過（進捗）又は数量に関する状況を示す図形要素を顕著に表した画像。

例：　ダウンロード状況を示す進捗インジケーター、読み込み状況を示すインジケーター。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBN, VBP（2 肢）【ステータスインジケーター】 について

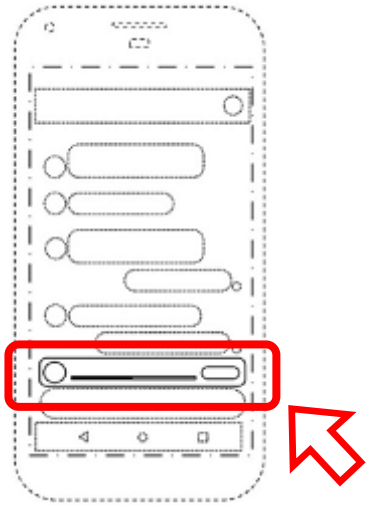
＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ステータスインジケーター
・プログレスバー
・動画や音楽のタイムライン

※VBP（円形インジケーター）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・タコメーター

＜このタームの付与運用＞

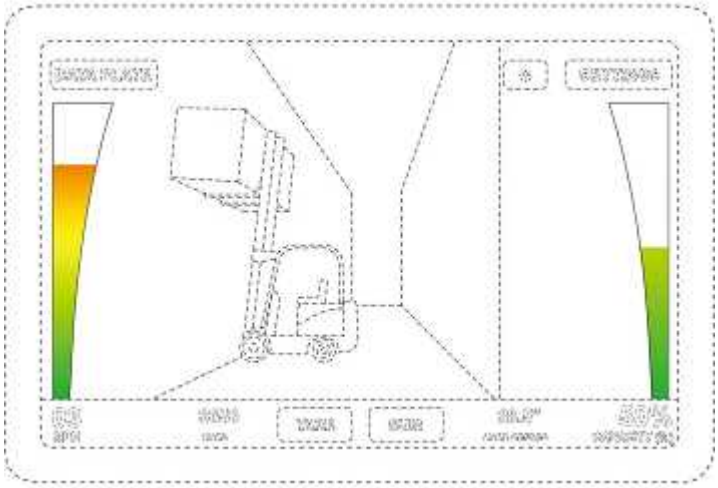
＜他のタームとの関係＞
・動画や音楽の**タイムライン**を表示する GUI 部品については、操作できるか否かに関わらず、VBN（ステータスインジケーター）を付与する。操作できる場合は VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・【図例有り】何らかの数量（結果）を表示する**インジケーター**であるが、**スクロールバー**や**スライダー**としての形状的な特徴（全体量とノブが表されている等）を有するものについては、 VBN（ステータスインジケーター） を付与した後、VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・「意匠に係る物品の説明」等に「**インジケーター**」と記載されていても、表示領域を示す**インジケーター**のように、VBM（スクロールバー）が適する GUI 部品があるので、 VBN（ステータスインジケーター）との関係で、注意が必要。
・ある軸に対し複数の、例えば棒状の**インジケーター**が並んでいて、**棒グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、 VBN-VBP（ステータスインジケーター） を付与した後、VCB（グラフ）を追加付与できる。
・**タコメーター**（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のような GUI については、個々のインジケーターに VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。
・シンプルな形状の**スローバー**、**スプラッシュスクリーン**、**砂時計**、**スピニングホイール**は、アイコンのタームを付与する。複合的又は混成的な形態の場合は、VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与することも可能とする。

＜図例＞



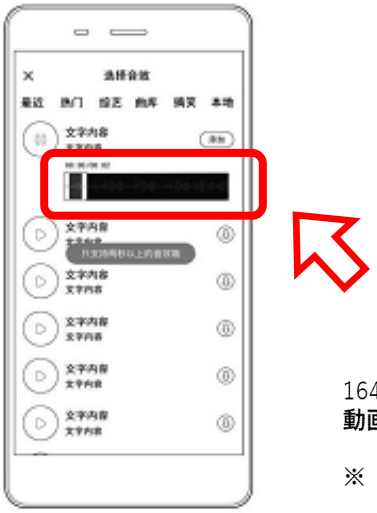
1617699
プログレスバー

※【意匠に係る物品の説明】…他のアプリケーションのローディング進行状況等を示すバーが表示される…



1655983
インジケーター

境界例（含む例）



1648274
動画や音楽のタイムライン

※【意匠に係る物品の説明】…音声インジケーターに表示された…

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBP	円形のもの ［ステータスインジケーター又はプログレスバー］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

実質的に円形状を呈するステータスインジケーターを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBN, VBP（2 肢）【ステータスインジケーター】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ステータスインジケーター
・プログレスバー
・動画や音楽のタイムライン

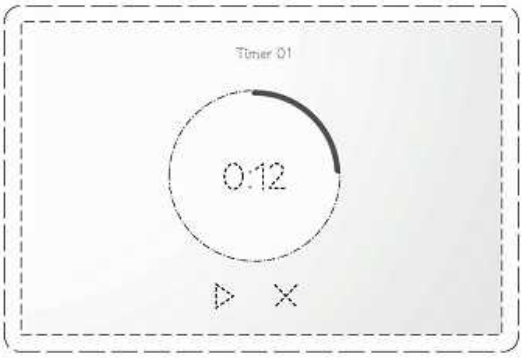
※VBP（円形インジケーター）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・タコメーター

＜このタームの付与運用＞

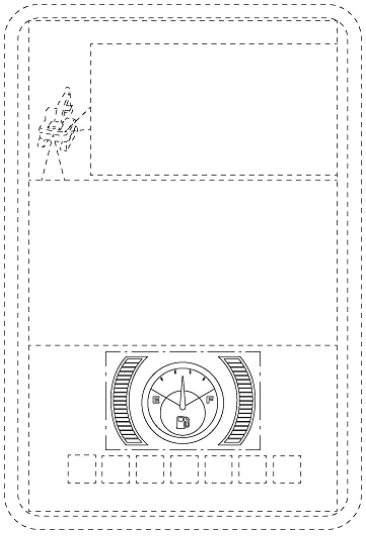
＜他のタームとの関係＞
・動画や音楽の**タイムライン**を表示する GUI 部品については、操作できるか否かに関わらず、VBN（ステータスインジケーター）を付与する。操作できる場合は VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・【図例有り】何らかの数量（結果）を表示する**インジケーター**であるが、**スクロールバー**や**スライダー**としての形状的な特徴（全体量とノブが表されている等）を有するものについては、 VBN（ステータスインジケーター） を付与した後、VBM（スクロールバー）を追加付与できる。
・「意匠に係る物品の説明」等に「**インジケーター**」と記載されていても、表示領域を示す**インジケーター**のように、VBM（スクロールバー）が適する GUI 部品があるので、 VBN（ステータスインジケーター）との関係で、注意が必要。
・ある軸に対し複数の、例えば棒状の**インジケーター**が並んでいて、**棒グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、 VBN-VBP（ステータスインジケーター） を付与した後、VCB（グラフ）を追加付与できる。
・**タコメーター**（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のような GUI については、個々のインジケーターに VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。
・シンプルな形状の**スローバー**、**スプラッシュスクリーン**、**砂時計**、**スピニングホイール**は、アイコンのタームを付与する。複合的又は混成的な形態の場合は、VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与することも可能とする。

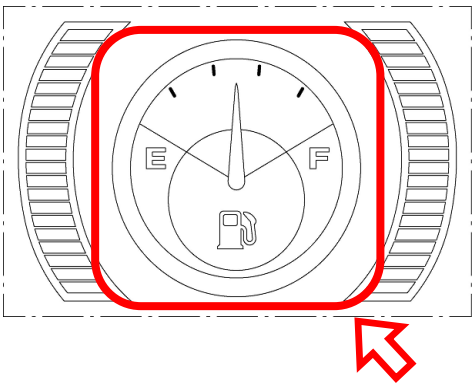
＜図例＞

1619621
ステータスインジケーター



1633608
ステータスインジケーター





1626007
タコメーター

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBQ	文字によるメニュー表示又は文字入力領域

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

文字列や文字入力領域が目立つように構成されたメニューレイアウトを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBQ-VBR（2 肢）【文字メニュー、文字入力】 について

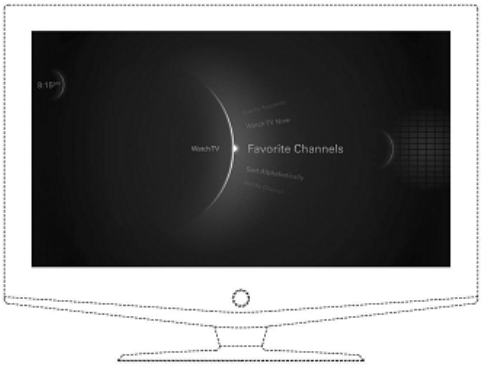
＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・文字によるリスト
・テキストボックス
・検索ボックス
・ドラムロール
・文字選択エリア
・コンボボックス

※VBR（ログインフォーム）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・ログインフォーム

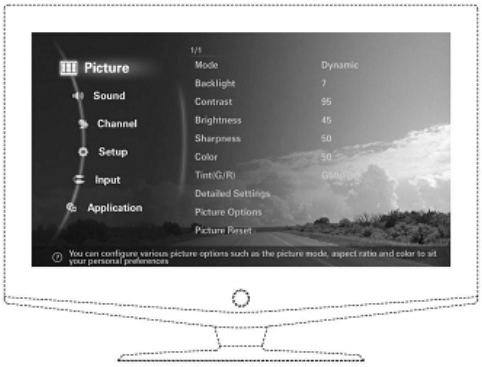
＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞
・**コンボボックス**（テキストボックス＋リスト）にポップアップ等の変化がある場合は、VBB-VBD（ポップアップ）を付与した後に、VBQ-VBR（文字メニュー、文字入力）を追加付与できる。
・形状が他のタームの典型的なものでポップアップ等の変化がある場合は、 その他のタームを付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を追加付与できる。例えば、ポップアップする**ログインフォーム**は、 VBR（ログインフォーム） を付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を付与できる。これとは逆に、形状の特徴に応じて、 VBB-VBD（ポップアップ）を優先付与することもできる。
・**カレンダー状のデータピッカー**は VCA（紙媒体）を付与し、**ドラムロール状のデータピッカー**は VBQ（文字メニュー、文字入力）を付与する。いずれに対しても、VCF（スケジュール）は付与しない。

＜図例＞



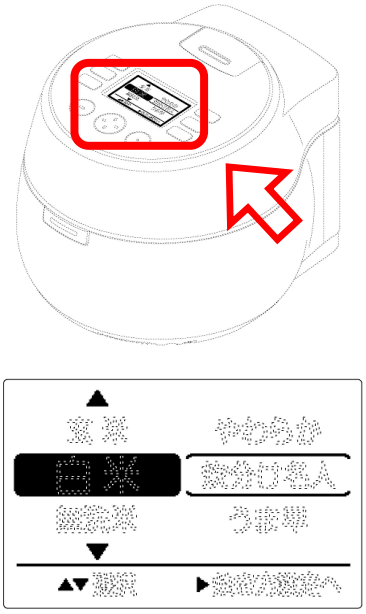
1366799
文字によるリスト



1366800
文字によるリスト

1652320
検索ボックス

1365927
ドラムロール



1652177
文字選択エリア

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBR	ログイン用の文字入力領域を伴うもの ［文字によるメニュー表示又は文字入力領域］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

文字列や文字入力領域が目立つように構成された画像で、アクセス承認に際して利用者に身元確認を促すもの。

注：　一般にシンプルな形式であり、ユーザーネーム、電子メールアドレス又はパスワード用の空欄を有するもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBQ-VBR（2 肢）【文字メニュー、文字入力】 について

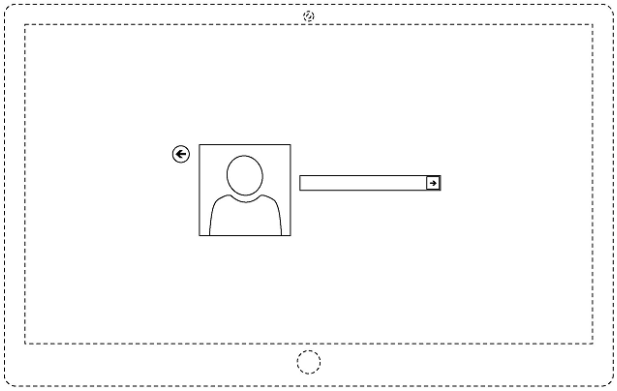
＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・文字によるリスト
・テキストボックス
・検索ボックス
・ドラムロール
・文字選択エリア
・コンボボックス

※VBR（ログインフォーム）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・ログインフォーム

＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞
・**コンボボックス**（テキストボックス＋リスト）にポップアップ等の変化がある場合は、VBB-VBD（ポップアップ）を付与した後に、VBQ-VBR（文字メニュー、文字入力）を追加付与できる。
・形状が他のタームの典型的なものでポップアップ等の変化がある場合は、 その他のタームを付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を追加付与できる。例えば、ポップアップする**ログインフォーム**は、 VBR（ログインフォーム） を付与した後に、VBB-VBD（ポップアップ）を付与できる。これとは逆に、形状の特徴に応じて、 VBB-VBD（ポップアップ）を優先付与することもできる。
・**カレンダー状のデータピッカー**は VCA（紙媒体）を付与し、**ドラムロール状のデータピッカー**は VBQ（文字メニュー、文字入力）を付与する。いずれに対しても、VCF（スケジュール）は付与しない。

＜図例＞



1482777
ログインフォーム

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VBS	表計算又は文字入力用スプレッドシート

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

小区画（セル）のマス目状構造に配置された文字列又はデータ入力用の空欄を表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VBS【スプレッドシート】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

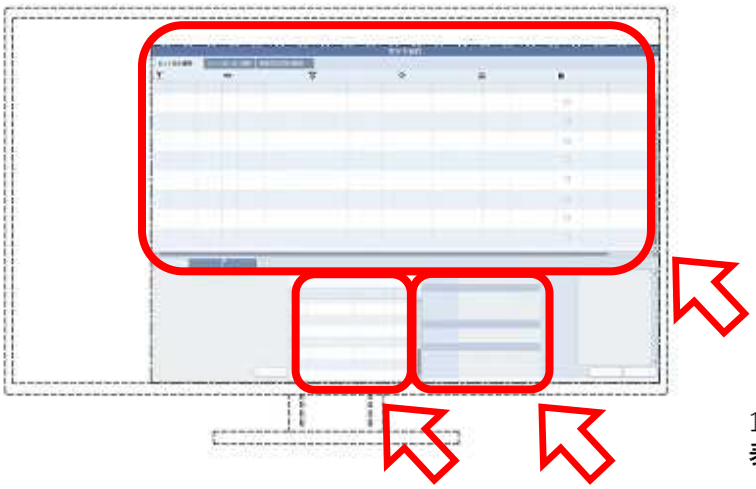
・スプレッドシート（ソフトウェア、データ）
・表
・多数のセルの配置

＜このタームの付与運用＞

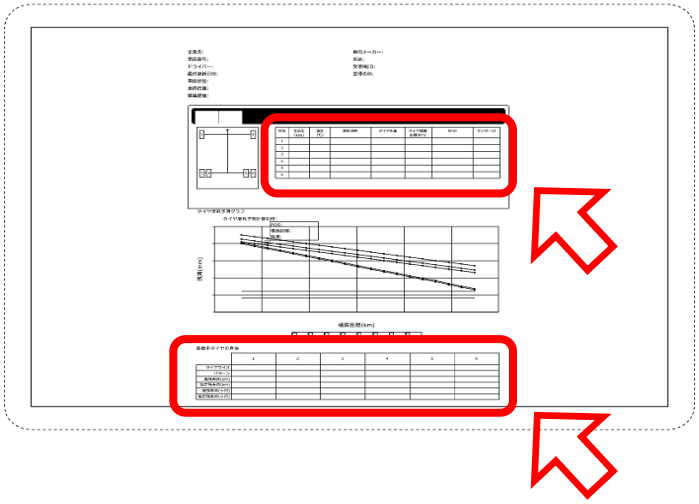
・文字列又はデータの入力を伴わないが、文字列又はデータを表示する**表**状のもの、多数のセルが配列したものも、VBS（スプレッドシート）を付与する。

＜他のタームとの関係＞

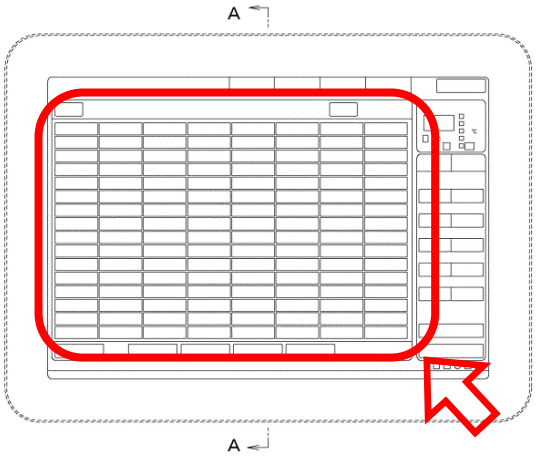
＜図例＞



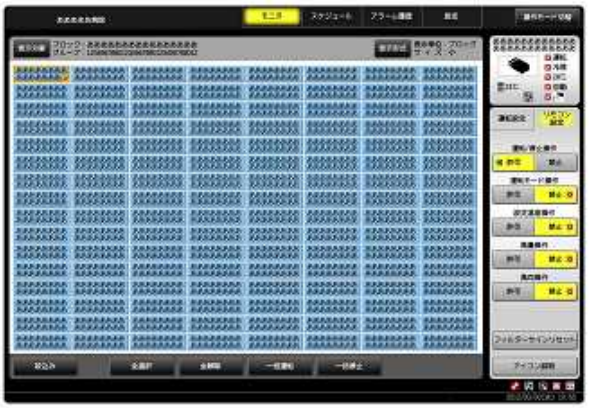
1616207
表



1633442
表（データの表示のみ）



1462607
表（文字列の表示のみ、タイトル行無し）



このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCA	紙媒体（書類、ノート、書籍、カレンダー等）を模したもの

対応する旧意匠分類 ※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

便箋、カレンダー、本、ノート、カード又は紙ばさみのような伝統的な紙を基にした物品の外観を隠喩するレイアウトを表した画像。ページめくりのような書類の扱いを示唆した形態が変化する画像を含む。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

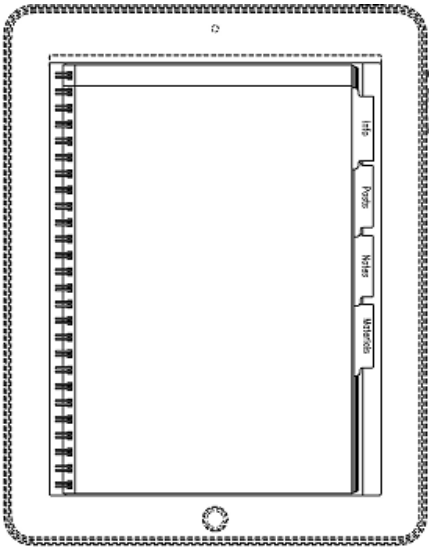
VCA【紙媒体】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・書類を模したもの
・ノートを模したもの
・書籍を模したもの
・カレンダーを模したもの（顕著な模写）

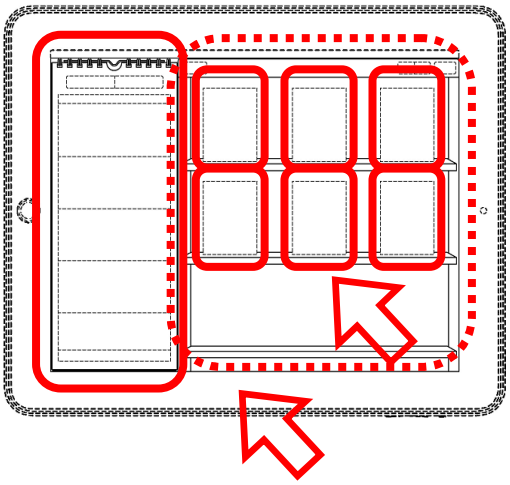
＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞
・**タブ**について、伝統的な紙媒体としての**タブ**を模しているもの（スキューモーフィックデザイン）は VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**タブバー**には VBE-VBG（ツールバー）を付与する。
・**カレンダー**について、現実のカレンダーを顕著に模写しているものは VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**カレンダー**は VCF（スケジュール）を付与する。

＜図例＞



1470746
ノートを模したもの



1470748
ノートを模したもの、
書籍を模したもの（単なる枠に見えるが、点線枠で囲んだ本棚の存在により書類を模したものといえる）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCB	グラフ又は図表

対応する旧意匠分類		※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

一つ以上のグラフ又は図表を顕著に表した画像。

例：　フローチャート、棒グラフ、線グラフ、散布図、ベン図等

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VCB, VCC, VCD　(3 肢)【グラフ】　について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・フローチャート
・棒グラフ
・線グラフ
・散布図
・ベン図
・インフォグラフィクス（数量）

※VCC（円形グラフ）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・円グラフ
・環状グラフ
・ドーナツグラフ
・レーダーチャート

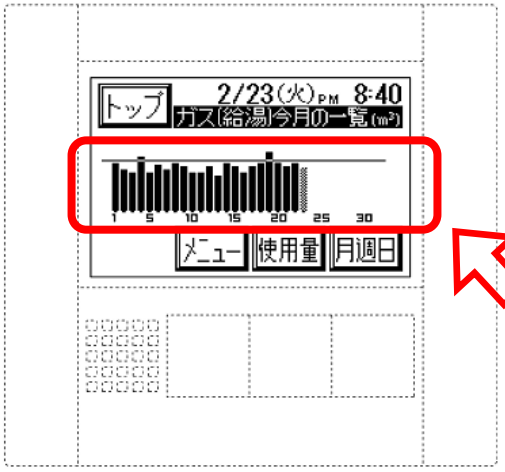
＜このタームの付与運用＞

・**グラフ**の枠のみが意匠登録を受けようとする部分で、値（グラフ自体）が意匠登録を受けようとする部分以外の部分である場合であっても、VCB-VCD（グラフ）を付与する。

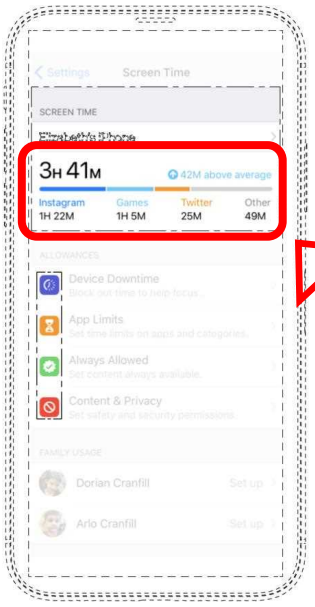
＜他のタームとの関係＞

・【図例有り】ある軸に対し複数の、例えば棒状の**インジケーター**が並んでいて、**棒グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、 VBN-VBP（ステータスインジケーター） を付与した後、VCB（グラフ）を追加付与できる。
・【図例有り】**タコメーター**（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のような GUI については、個々のインジケーターに VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。
・**海図**用の**レーダーチャート**の場合、**海図**が意匠登録を受けようとする部分**以外**の部分であって、意匠登録を受けようとする部分である**レーダーチャート**が、**グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、VCE（地図）ではなく、VCC（円形グラフ）を付与する。**海図**及び**レーダーチャート**が意匠登録を受けようとする部分である場合は、主たる方を優先し、VCE（海図）、VCC（円形グラフ）を付与する。

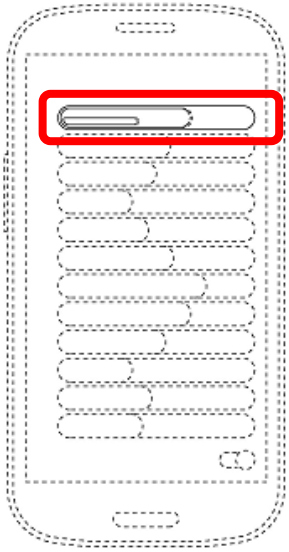
＜図例＞



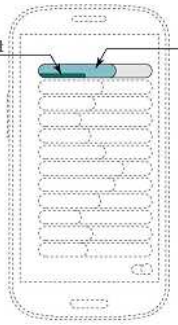
1353177
棒グラフ



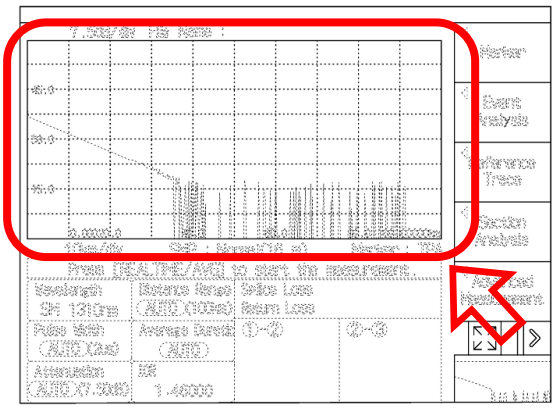
1635887
積み上げグラフ



1636820
棒グラフ



1637499
棒グラフ、枠のみ



追加付与できる例

VBN（ステータスインジケーター）を付与。棒グラフとしての形状の特徴を有するので、VCB（グラフ）を追加付与できる。

1654035
インジケーター（棒グラフ状）

※【意匠に係る物品の説明】各車両の湿度の変化に伴う不快指数の状況を確認するためのモニタリング画像であり、各車両における不快指数が棒グラフおよび顔のアイコンで表示される

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCC	円形のもの ［グラフ又は図表］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

円グラフ、環状グラフ又はドーナツグラフ等の、実質的に円形状を呈するグラフ又は図表を表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VCB, VCC, VCD （3 肢）【グラフ】 について

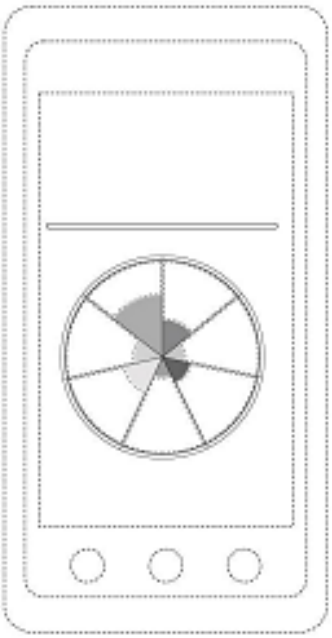
＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・フローチャート
・棒グラフ
・線グラフ
・散布図
・ベン図
・インフォグラフィクス（数量）

※VCC（円形グラフ）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・円グラフ
・環状グラフ
・ドーナツグラフ
・レーダーチャート

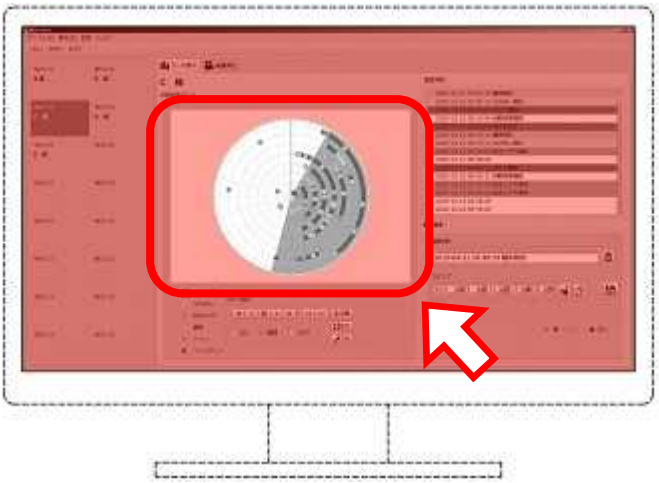
＜このタームの付与運用＞
・**グラフ**の枠のみが意匠登録を受けようとする部分で、値（グラフ自体）が意匠登録を受けようとする部分以外の部分である場合であっても、VCB-VCD（グラフ）を付与する。

＜他のタームとの関係＞
・【図例有り】ある軸に対し複数の、例えば棒状の**インジケーター**が並んでいて、**棒グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、 VBN-VBP（ステータスインジケーター） を付与した後、VCB（グラフ）を追加付与できる。
・【図例有り】**タコメーター**（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のような GUI については、個々のインジケーターに VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。
・**海図**用の**レーダーチャート**の場合、**海図**が意匠登録を受けようとする部分**以外**の部分であって、意匠登録を受けようとする部分である**レーダーチャート**が、**グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、VCE（地図）ではなく、VCC（円形グラフ）を付与する。**海図**及び**レーダーチャート**が意匠登録を受けようとする部分である場合は、主たる方を優先し、VCE（海図）、VCC（円形グラフ）を付与する。

＜図例＞



1516019
環状グラフ



1652142
環状グラフ

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCD	複数の図表を含み得るダッシュボード（区画領域）を伴うもの ［グラフ又は図表］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

様々な形態による複数のインフォグラフィクス（情報を視覚的に表現したもの）を表した画像。画面全体又はその一部における個別に分離された領域に配置された図表、グラフ、その他の形式により情報を可視化したものを含む。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VCB, VCC, VCD （3 肢）【グラフ】 について

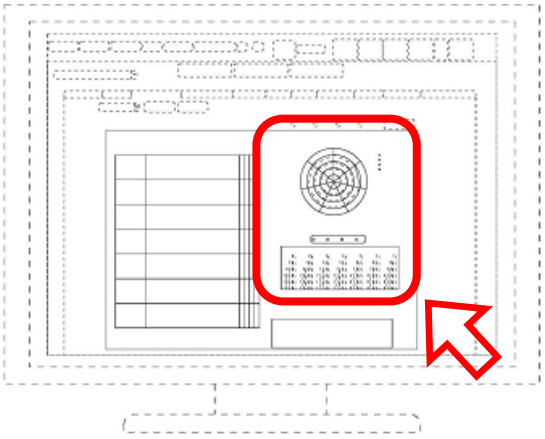
＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・フローチャート
・棒グラフ
・線グラフ
・散布図
・ベン図
・インフォグラフィクス（数量）

※VCC（円形グラフ）のみに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例
・円グラフ
・環状グラフ
・ドーナツグラフ
・レーダーチャート

＜このタームの付与運用＞
・**グラフ**の枠のみが意匠登録を受けようとする部分で、値（グラフ自体）が意匠登録を受けようとする部分以外の部分である場合であっても、VCB-VCD（グラフ）を付与する。

＜他のタームとの関係＞
・【図例有り】ある軸に対し複数の、例えば棒状の**インジケーター**が並んでいて、**棒グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、 VBN-VBP（ステータスインジケーター） を付与した後、VCB（グラフ）を追加付与できる。
・【図例有り】**タコメーター**（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のような GUI については、個々のインジケーターに VBN-VBP（ステータスインジケーター）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。
・**海図**用の**レーダーチャート**の場合、**海図**が意匠登録を受けようとする部分**以外**の部分であって、意匠登録を受けようとする部分である**レーダーチャート**が、**グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、VCE（地図）ではなく、VCC（円形グラフ）を付与する。**海図**及び**レーダーチャート**が意匠登録を受けようとする部分である場合は、主たる方を優先し、VCE（海図）、VCC（円形グラフ）を付与する。

＜図例＞



1634435
レーダーチャート、棒グラフ

1627108
タコメーター、
インジケーター（棒状）

追加付与できる例

タコメーター（例えば、回転針と円形表示領域の組み合わせ）などの**円形インジケーター**や他の形状の**インジケーター**が複数並び、機器の計器類のようなGUIについては、個々のインジケータにVBN-VBP（ステータスインジケータ）を付与した後、VCD（ダッシュボード）を追加付与できる。

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCE	地図

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

地図を顕著に表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VCE【地図】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・地図
・ナビゲーション
・ストリートビュー
・フロアガイド
・路線図
・海図
・航海図
・魚群探知
・航空図
・天気図
・宇宙図

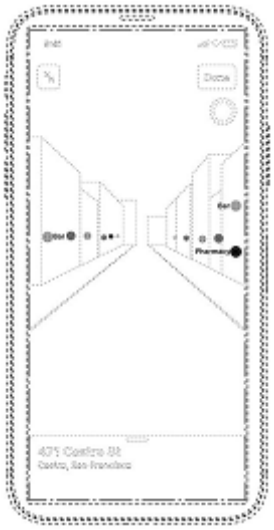
＜このタームの付与運用＞

・【図例有り】**地図**が意匠登録を受けようとする部分以外の部分であっても、意匠登録を受けようとする部分となる図形を**地図**の上に配置することが特徴的である場合は、VCE（地図）を付与する。

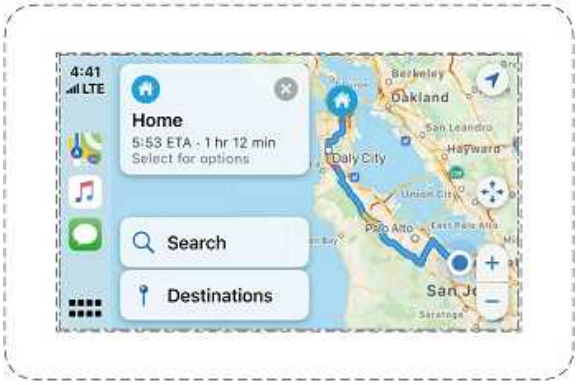
＜他のタームとの関係＞

・**海図**用の**レーダーチャート**の場合、**海図**が意匠登録を受けようとする部分**以外**の部分であって、意匠登録を受けようとする部分である**レーダーチャート**が、**グラフ**としての形状的な特徴を有する場合、VCE（地図）ではなく、VCC（円形グラフ）を付与する。**海図**及び**レーダーチャート**が意匠登録を受けようとする部分である場合は、主たる方を優先し、VCE（海図）、VCC（円形グラフ）を付与する。
・電車やバスの**運行状況**について**地図**の要素がある場合は、VCF（スケジュール）を付与した後、VCE（地図）を追加付与できる。

＜図例＞

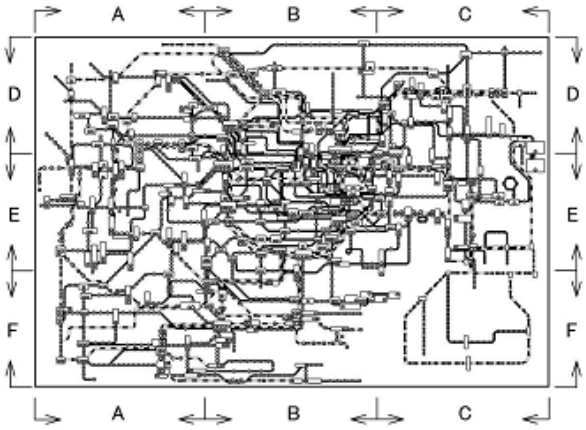


1659303
ストリートビュー

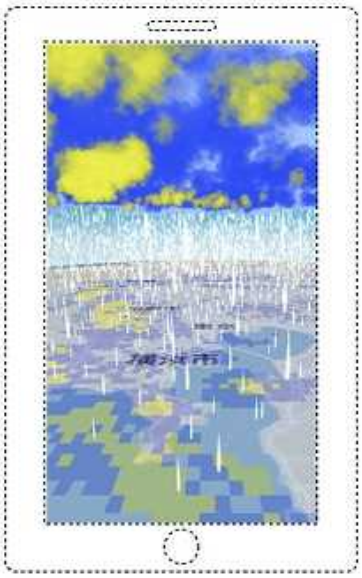


1656655
地図

地図が意匠登録を受けようとする部分以外の部分であっても、意匠登録を受けようとする部分となる図形を地図の上に配置することが特徴的である場合は、VCE（地図）を付与する



1600680
路線図



1653815
天気図（３Dビュー）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCF	スケジュール表示又はカレンダー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

スケジュール表やカレンダーのような複数の日付や時間のリストとして認識可能な形式を伴うレイアウトを顕著に表した画像。

例：　カレンダーメタファ、予定表メタファ、日付選択用部品。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

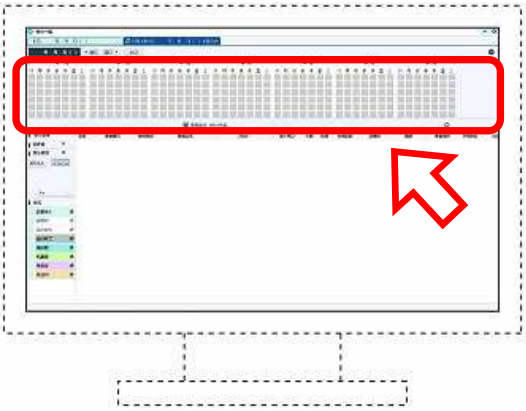
VCF【スケジュール】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・スケジュール表
・カレンダー状のデータピッカー
・タイムテーブル
・時刻表
・乗り換え案内
・運行状況（電車、バス、飛行機、船）
・天気予報

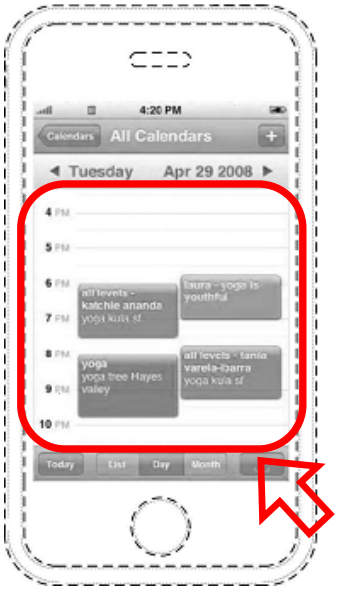
＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞
・【図例有り】**カレンダー状のデータピッカー**は VCA（紙媒体）を付与し、**ドラムロール状のデータピッカー**は VBQ（文字メニュー、文字入力）を付与する。いずれに対しても、VCF（スケジュール）は付与しない。
・**カレンダー**について、現実のカレンダーを顕著に模写しているものは VCA（紙媒体）を付与し、シンプルな**カレンダー**は VCF（スケジュール）を付与する。
・電車やバスの**運行状況**について**地図**の要素がある場合は、VCF（スケジュール）を付与した後、VCE（地図）を追加付与できる。

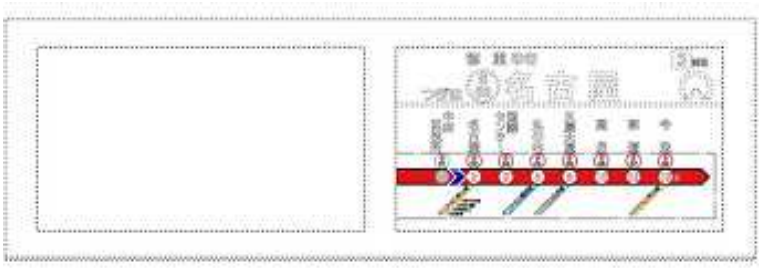
＜図例＞



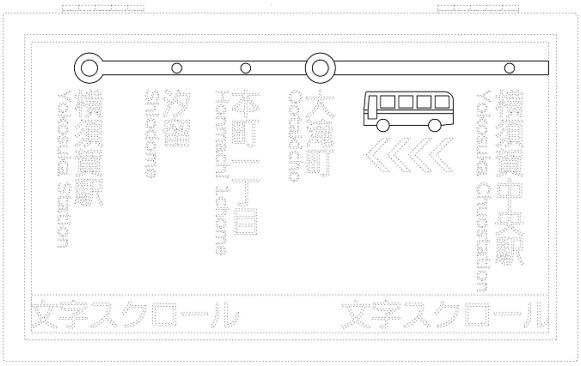
1651311
カレンダー



1383168
スケジュール表

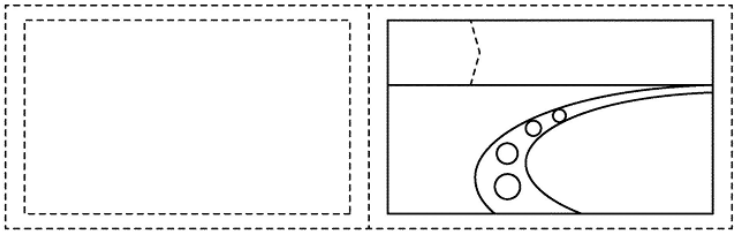


1420131
運行状況（電車）



1507397
運行状況（バス）

1507500
運行状況（電車）



境界例（除く例）

1365927
ドラムロール状のデータピッカー
→ **VBQを付与**

※カレンダー状のデータピッカーはVCA（紙媒体）を付与し、**ドラムロール状のデータピッカー**はVBQ（文字メニュー、文字入力）を付与する。いずれに対しても、VCF（スケジュール）は付与しない

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCG	時刻表示

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

時刻を視覚化した画像。時計の文字盤やデジタル表示のような機械的又は電子的な機器のメタファを含む。

注：　伝達すべき特定の時刻を可視化したものではなく、時計や腕時計のような時刻を伝達する機器を模したアイコンの画像については、アイコン用の「VHL　計測機器、時計」のタームを付与する。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VCG【時刻】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・時刻
・時計の文字盤
・日付表示

＜このタームの付与運用＞

・一般的な形状で非常に小さいもの、例えばスマートフォンのツールバーの端にあるようなもの、については VCG（時刻）を付与しない。

＜他のタームとの関係＞

＜図例＞

1656051
時計の文字盤

1653597
時刻

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCH	チャット、インスタントメッセージ用の文字入力レイアウト

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

対話的な構造を示すメニューのレイアウトを顕著に表した画像。主として対話用の複数の吹き出しや囲みを含む。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VCH【チャット】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

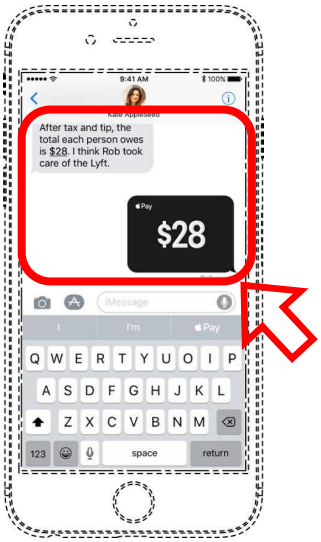
・メール
・メッセージ
・チャット
・SNS（対話式）

＜このタームの付与運用＞

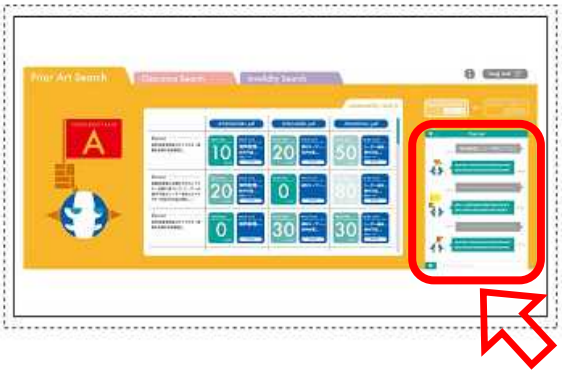
＜他のタームとの関係＞

・ 対話形式でない単なる吹き出し型の枠の**ポップアップ（リスト型）**は、VBC（ポップアップ／リスト型）を付与する。VCH（チャット）は付与しない。

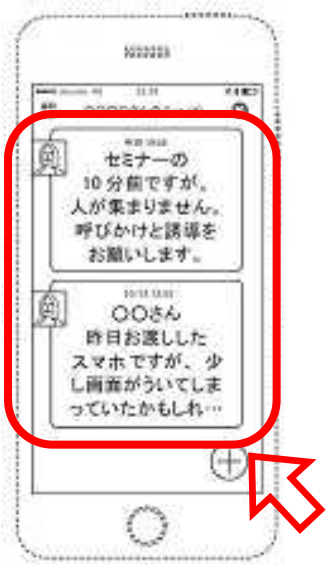
＜図例＞



1638304
メール



1634316
チャット



1617286
メッセージ

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCJ	イメージ又はパターンの繰り返しを伴うメニュー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

上記に規定された以外の反復的又は循環的な要素を伴うメニューインターフェースを表した画像。

注：コンテンツ表示部の配列の場合は、このタームではなく、「VDD　二つの非連続領域（ウィンドウ）からなるもの」、「VDE　三つ以上の非連続領域（ウィンドウ）からなるもの」等を付与する。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VCJ【繰り返しを伴うメニュー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・直線状のアイコンの配置
・直線状のアイコンの配置（画面外に及ぶ）
・弧状のアイコンの配置
・弧状のアイコンの配置（画面外に及ぶ）

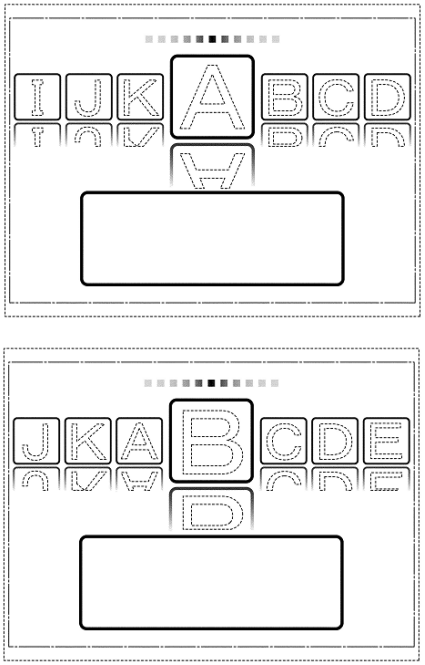
＜このタームの付与運用＞

・選択部が繰り返し（直線状、弧状等に）並ぶメニューで、画面が固定され、選択部が動くものは、VCJ（繰り返しを伴うメニュー）を付与する。最初の選択部と最後の選択部がループ状につながっているか否かは問わない。

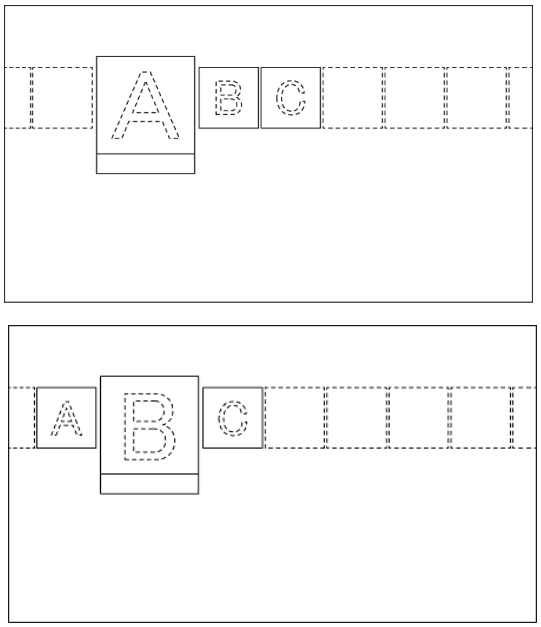
＜他のタームとの関係＞

・ VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。

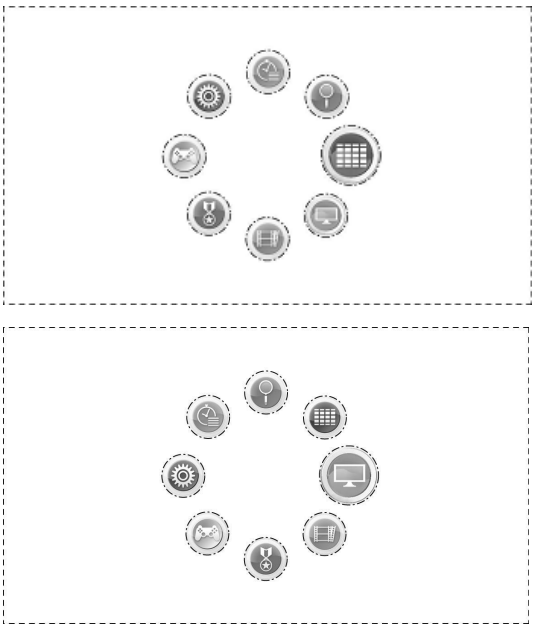
＜図例＞



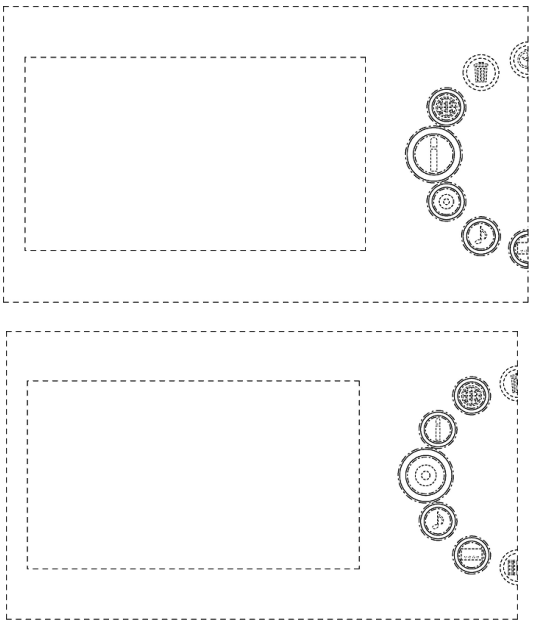
1382507
直線状のアイコンの配置



1540573
直線状のアイコンの配置（画面外に及ぶ）



1391709
弧状のアイコンの配置



1447417
弧状のアイコンの配置（画面外に及ぶ）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCK	文字又はイメージを伴うメニュー

対応する旧意匠分類 ※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

上記に規定された以外の文字列や図像を伴うメニューインターフェースを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VCK【文字・イメージを伴うメニュー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ホームメニュー（反復的、循環的な要素がなく、パネル状でないもの）

＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞

・ VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。

＜図例＞

1391807
ホームメニュー （反復的、循環的な要素がなく、パネル状でないもの）

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VCL	カラー又はグレースケールを伴うメニュー

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

上記に規定された以外のカラー又はグレースケールにより表された構成を伴うメニューインターフェースを表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VCL【カラー・グレーを伴うメニュー】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

＜このタームの付与運用＞

＜他のタームとの関係＞

・ VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。

・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDA	画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

ウィンドウ、パネル、タイルのような、画面を個別のコンテンツ収容単位に区分したことに特徴を有する画像。
注：　パネルやウィンドウ中の内容（情報）は、必ずしも意匠登録を受けようとする部分として含まれていなくて良い。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

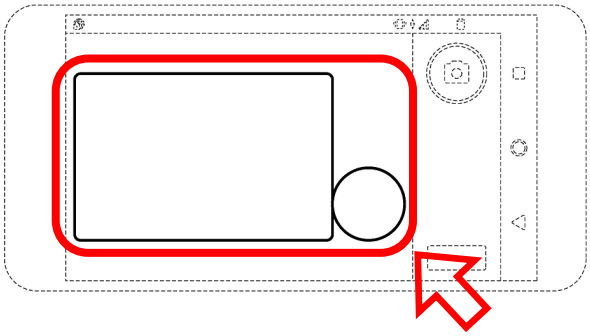
VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG（7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ウィンドウ
・パネル
・タイル

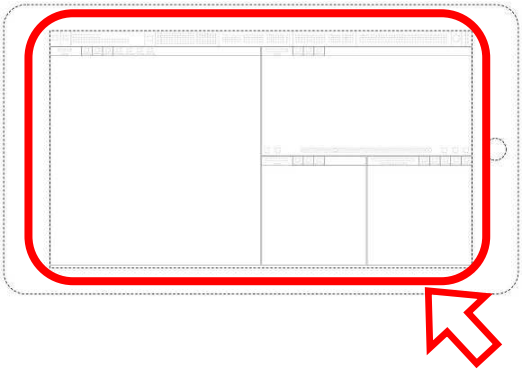
＜このタームの付与運用＞
・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞
・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

＜図例＞

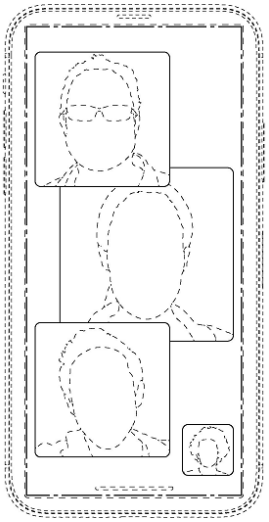


1639047
領域区分（同様の形状でないもの）



1651469
パネル（同様の形状でないもの）

1636993
パネル（重なりがあるもの）



1532150
パネル（同様の形状でないもの）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDB	二つの連続領域（パネル）からなるもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

同様の大きさと形状を有する連続パネルからなる2つのコンテンツ収容単位に画面を区分したことに特徴を有する画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG （7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ウィンドウ
・パネル
・タイル

＜このタームの付与運用＞

・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞

・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDC	三つ以上の連続領域（パネル）からなるもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

同様の大きさと形状を有する連続パネルからなる3つ以上のコンテンツ収容単位に画面を区分したことに特徴を有する画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG（7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ウィンドウ
・パネル
・タイル

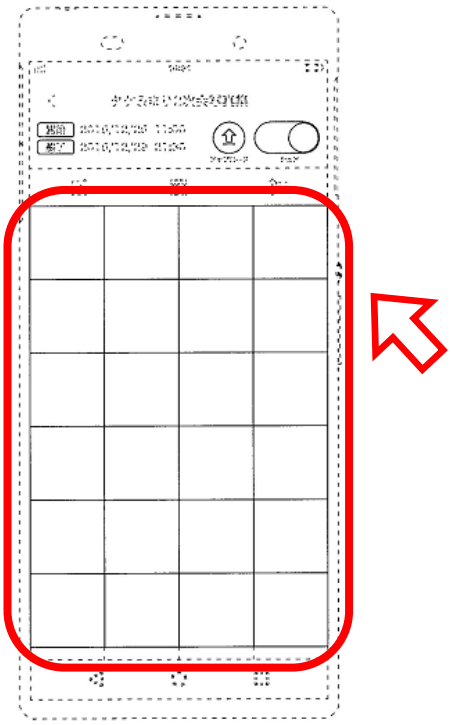
＜このタームの付与運用＞

・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

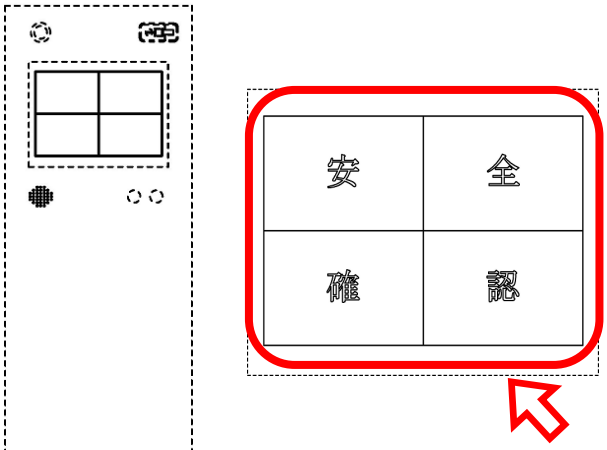
＜他のタームとの関係＞

・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

＜図例＞



1652430
パネル（連続）



1575233
パネル（連続）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDD	二つの非連続領域（ウィンドウ）からなるもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

同様の大きさと形状を有する非連続ウィンドウからなる2つのコンテンツ収容単位に画面を区分したことに特徴を有する画像。
注：　各単位は間隔を空けて又は重なり合いによって区分され、境界を他の単位と共有しない。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG （7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ウィンドウ
・パネル
・タイル

＜このタームの付与運用＞
・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞
・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDE	三つ以上の非連続領域（ウィンドウ）からなるもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

同様の大きさと形状を有する非連続ウィンドウからなる3つ以上のコンテンツ収容単位に画面を区分したことに特徴を有する画像。
注：　各単位は間隔を空けて又は重なり合いによって相互に区分され、境界を他の単位と共有しない。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

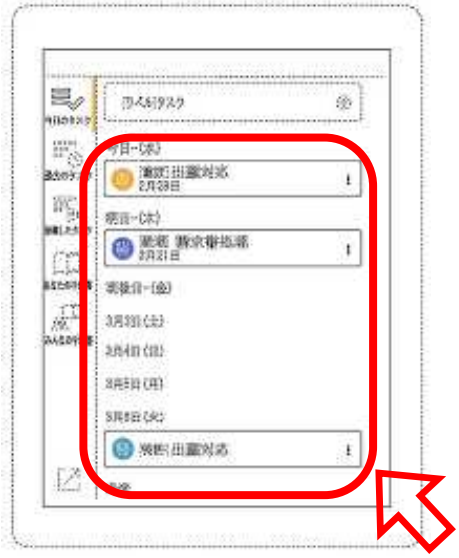
VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG （7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ウィンドウ
・パネル
・タイル

＜このタームの付与運用＞
・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・【図例有り】 VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞
・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

＜図例＞



1621054
ウィンドウ（非連続）

※意匠登録を受けようとする部分は枠のみなので、それに対しVDEを付与しつつ、TODOリストであるので、VCF（スケジュール）を追加付与できる。

1631599
ウィンドウ（非連続）

※意匠登録を受けようとするウィンドウは二つのみ

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDF	区画領域が変化するもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

コンテンツ収容単位が遷移（変化）すること又は当該単位内の図像が連続的に遷移（変化）することに特徴を有する画像。
例：　ウィンドウの移動（スライド）、循環的な遷移（変化）、折りたたみ式のギャラリー、積層したカードの移動（スワイプ）。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

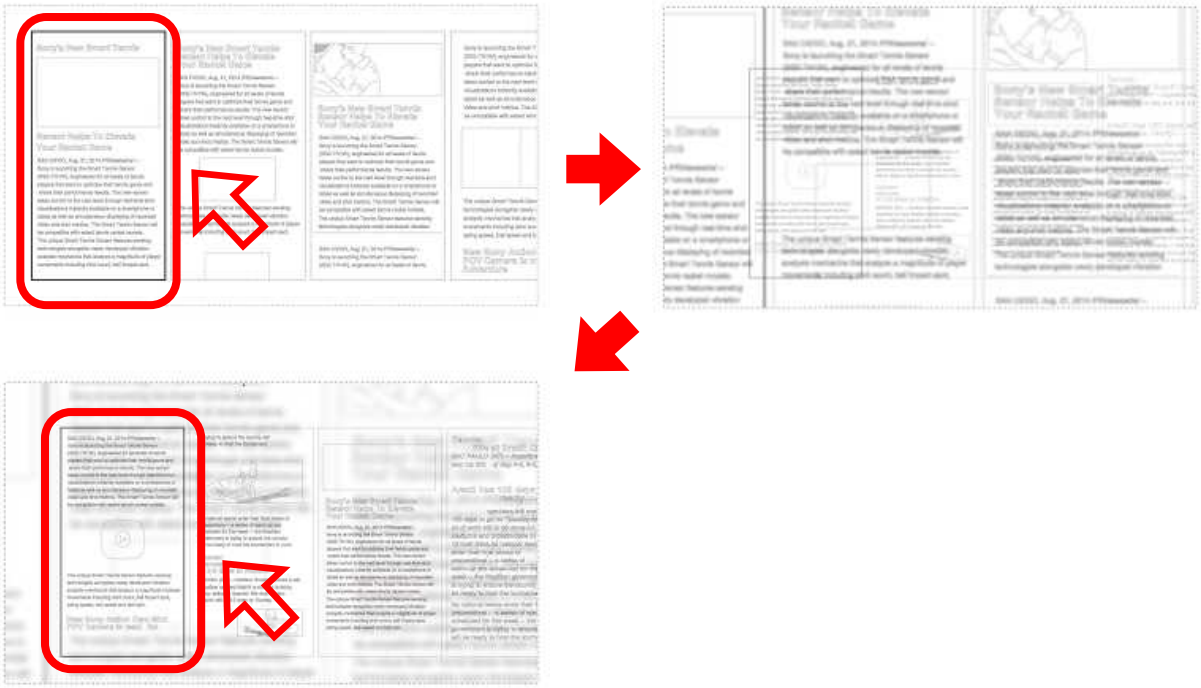
VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG（7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞
・ウィンドウ
・パネル
・タイル

＜このタームの付与運用＞
・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞
・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

＜図例＞



1570059
パネル（変化するもの）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VDG	カラー、グレースケール、太線等により領域区分されたもの ［画面領域を区分したもの（ウィンドウ、パネル、タイル等）］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

カラー又はグレースケールにより表された構成、太線、ハイライト、他の同類の視覚的なコントラストのバリエーションによって差別化された個別の単位に画面を区分したことに特徴を有する画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ （付与優先順位、懸案事項など）

VDA, VDB, VDC, VDD, VDE, VDF, VDG （7 肢）【画面領域区分】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・ウィンドウ
・パネル
・タイル

＜このタームの付与運用＞

・一つの枠で領域区分が明確であれば VDA（画面領域区分）を付与する。それがカラーやグレースケールや太線による強調等であれば VDG（カラー・太線）を付与する。
・「実線の枠」だけでなく「色での分け」も領域の区分とする。
・VDA-VDG（画面領域区分）における優先順位は、VDB-VDF【優先】＞VDG（カラー・太線）＞VDA（画面領域区分）とする。
・【図例有り】 VDA-VDG（画面領域区分）の中から複数のタームを同時付与できる。

＜他のタームとの関係＞

・領域内が意匠登録を受けようとする部分であり、GUI 機能が明確かつ特徴的で VB 台、VC 台に該当する場合はそのタームを付与し、領域内が意匠登録を受けようとする部分でなく、GUI の機能が不明確で、領域区分に特徴がある場合は、VD 台のタームを付与する。
・VCJ（繰り返しを伴うメニュー）、VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）、VDA-VDG（画面領域区分）についての優先順位は、 VCJ（繰り返しを伴うメニュー）【優先】＞ VDA-VDG（画面領域区分）＞ VCK（文字・イメージを伴うメニュー）、VCL（カラー・グレーを伴うメニュー）とする。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。
・画面領域を区分したもので、レイヤー上に重なりを伴って動く場合は、VDF（領域区分が変化）を付与した後に、VLG（重なり合い）を追加付与できる。

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VEA	画面全体を構成する背景又は骨組み

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

画面全体又はその主要な範囲を占める、背景、侵入（自動出現）型のアニメーション又は固定されたコンテンツ表示部や枠として機能する画像であり、利用者によるインタラクションは制限的であることが示唆されるもの。

説明と例示：　背景、壁紙、映画のような画面転換（ワイプ）、場面つなぎのアニメーション、スクリーンセーバー、視覚的に精巧に作られた枠やボタン周縁部（シンプルな枠線でないもの）のような外観を呈する画像。一般に、インターフェースのインタラクティブな又は可変的なコンテンツ要素に対して、それらに干渉することなく、その背後に置かれるもの、その周囲を囲むもの又は一時的にその上に重ねられるもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VEA, VEB, VBC, VED　(4 肢)【背景、骨組み】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・背景
・進入型アニメーション（利用者によるインタラクションが制限的）
・コンテンツ表示部（利用者によるインタラクションが制限的）
・精巧に作られた枠
・精巧に作られたボタン周辺部

＜このタームの付与運用＞

・優先順位は、VEB（具象型）【優先】＞VEC（変化）＞VED（カラー・グレー）＞VEA（背景、骨組み）。

＜他のタームとの関係＞

・アイコンと VE 台（背景）との関係について。VE 台（背景）には、説明のための背景画像、例えば、他の主たる情報（表示画像、操作画像）の背後レイヤーに配置され、その主たる情報を補足することが主目的となる画像等、が含まれる。アイコンか背景かの判断に迷う場合は、まずは、画面内に占める割合（想定も含む）によって、大きい場合は VE 台（背景）を付与し、小さい場合はアイコンのタームを付与する。ただし、画面内のある程度の範囲を占めるものであっても、例えば、対象がはっきりしているもの（アバター等）については、アイコンのタームを付与する。アイコンと VE 台の同時付与は可能。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VEB	具象型 ［画面全体を構成する背景又は骨組み］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

背景、侵入（自動出現）型のアニメーション又は固定されたコンテンツ表示部として機能する画像であり、その忠実度にかかわらず、現実世界における光景、物体、外見を模したと認識されるもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VEA, VEB, VBC, VED （4 肢）【背景、骨組み】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・背景
・進入型アニメーション（利用者によるインタラクションが制限的）
・コンテンツ表示部（利用者によるインタラクションが制限的）
・精巧に作られた枠
・精巧に作られたボタン周辺部

＜このタームの付与運用＞

・優先順位は、VEB（具象型）【優先】＞VEC（変化）＞VED（カラー・グレー）＞VEA（背景、骨組み）。

＜他のタームとの関係＞

・アイコンと VE 台（背景）との関係について。VE 台（背景）には、説明のための背景画像、例えば、他の主たる情報（表示画像、操作画像）の背後レイヤーに配置され、その主たる情報を補足することが主目的となる画像等、が含まれる。アイコンか背景かの判断に迷う場合は、まずは、画面内に占める割合（想定も含む）によって、大きい場合は VE 台（背景）を付与し、小さい場合はアイコンのタームを付与する。ただし、画面内のある程度の範囲を占めるものであっても、例えば、対象がはっきりしているもの（アバター等）については、アイコンのタームを付与する。アイコンと VE 台の同時付与は可能。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

＜図例＞

1469341
背景

1477324
背景

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VEC	変化又は遷移を伴うもの ［画面全体を構成する背景又は骨組み］

対応する旧意匠分類	※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品	
分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

背景、侵入（自動出現）型のアニメーション又は固定されたコンテンツ表示部として機能する一連の図像を表した画像。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VEA, VEB, VBC, VED （4 肢）【背景、骨組み】 について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・背景
・進入型アニメーション（利用者によるインタラクションが制限的）
・コンテンツ表示部（利用者によるインタラクションが制限的）
・精巧に作られた枠
・精巧に作られたボタン周辺部

＜このタームの付与運用＞

・優先順位は、VEB（具象型）【優先】＞VEC（変化）＞VED（カラー・グレー）＞VEA（背景、骨組み）。

＜他のタームとの関係＞

・アイコンと VE 台（背景）との関係について。VE 台（背景）には、説明のための背景画像、例えば、他の主たる情報（表示画像、操作画像）の背後レイヤーに配置され、その主たる情報を補足することが主目的となる画像等、が含まれる。アイコンか背景かの判断に迷う場合は、まずは、画面内に占める割合（想定も含む）によって、大きい場合は VE 台（背景）を付与し、小さい場合はアイコンのタームを付与する。ただし、画面内のある程度の範囲を占めるものであっても、例えば、対象がはっきりしているもの（アバター等）については、アイコンのタームを付与する。アイコンと VE 台の同時付与は可能。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

＜図例＞

1651473
背景（変化を伴う）

このDタームと複数付与しないDターム		
記号	Dタームの名称	

過去に分類した物品の名称		

意匠分類記号	Dターム記号	Dタームの名称
N3－10 N3－11 N3－12	VED	カラー又はグレースケールを伴うもの ［画面全体を構成する背景又は骨組み］

対応する旧意匠分類　※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」

旧意匠分類記号	※	分類の名称　または　移行した物品

参考分類・参考物品

分類記号	分類の名称　または　物品の名称

定義

背景、侵入（自動出現）型のアニメーション又は固定されたコンテンツ表示部として機能する画像で、カラー又はグレースケールにより表された構成を含むもの。

他のDタームとの関係（付与しない意匠）

分類付与運用メモ　（付与優先順位、懸案事項など）

VEA, VEB, VBC, VED　（4 肢）【背景、骨組み】　について

＜このタームに含まれる GUI 部品、ソフトウェア画面の例＞

・背景
・進入型アニメーション（利用者によるインタラクションが制限的）
・コンテンツ表示部（利用者によるインタラクションが制限的）
・精巧に作られた枠
・精巧に作られたボタン周辺部

＜このタームの付与運用＞

・優先順位は、VEB（具象型）【優先】＞VEC（変化）＞VED（カラー・グレー）＞VEA（背景、骨組み）。

＜他のタームとの関係＞

・アイコンと VE 台（背景）との関係について。VE 台（背景）には、説明のための背景画像、例えば、他の主たる情報（表示画像、操作画像）の背後レイヤーに配置され、その主たる情報を補足することが主目的となる画像等、が含まれる。アイコンか背景かの判断に迷う場合は、まずは、画面内に占める割合（想定も含む）によって、大きい場合は VE 台（背景）を付与し、小さい場合はアイコンのタームを付与する。ただし、画面内のある程度の範囲を占めるものであっても、例えば、対象がはっきりしているもの（アバター等）については、アイコンのタームを付与する。アイコンと VE 台の同時付与は可能。
・VBG、VCL、VDG、VED、VGM、VKD を付与した場合は、VLA を付与しない。

このDタームと複数付与しないDターム

記号	Dタームの名称

過去に分類した物品の名称